①「下川の子どもたちの良いところ、気になるところ」を委員全員で出し合います。
②グループになり、「2030年までに実現したい下川町の地域で育む共育環境」を出し合います。
③インタビューで、「子どもたちの良いところ、気になるところ」についてエピソードを語り合います。
④地域共育ビジョン策定にあたり、期待することを出し合います。
⑤アドバイザーの枝廣淳子氏によるシステム思考に関する講義を行います。
⑥共育環境について増えてほしい、減ってほしいことを率直に出し合います。

地域共育ビジョン策定委員会の様子

第1回　11/1　ハピネス
第2回　11/12　公民館

どうして地域共育ビジョンを策定するのか

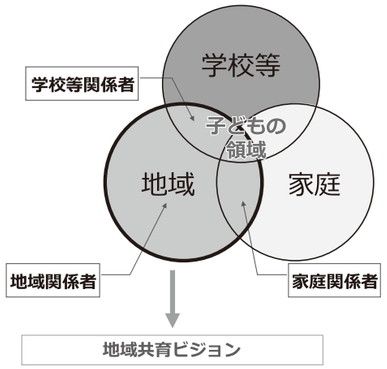
２０３０年における下川町のありたい姿で定められた７つの目標のうち、目標７「子どもたちの笑顔と未来世代の幸せを育むまち」を具体化するため、11月から、地域共育ビジョンの策定が始まりました。幼・小・中・高校とＰＴＡ、また地域の立場で子どもたちの育ちに携わるＮＰＯや商工業分野の16人の町民が委員の委嘱を受け取り組んでいます。

将来、下川に住む子どもが減少すれば、教養（習い事・スポーツ）や社会経験の機会の減少など将来的な教育環境の縮小が予測され、それによって、若者の移住定住や教育サービス業の縮小が引き起こされ、若者の減少、子供の減少が加速していくことが懸念されます。

何も手を打たない場合の成り行きの未来を食い止め、未来世代が自分の将来の可能性を広げ、地域への愛着と誇りをもつことができる環境づくりの土台となるのが、今回策定する「地域共育ビジョン」です。子どもたちの環境は、学校、家庭、地域の場にまたがり、影響しあっています。子どもたちの育ちを真ん中において対話を重ねることで、地域として子どもたちを育む環境づくりにおける目標をつくります。

なぜ、地域「共育」ビジョン？

子供の育つ環境は、学校だけでなく、家庭、地域なども含まれます。それぞれの関係者が「共に育てる」そして、子どもたちだけでなく、大人も「共に育つ」という意味で「共育」という言葉を使っています。

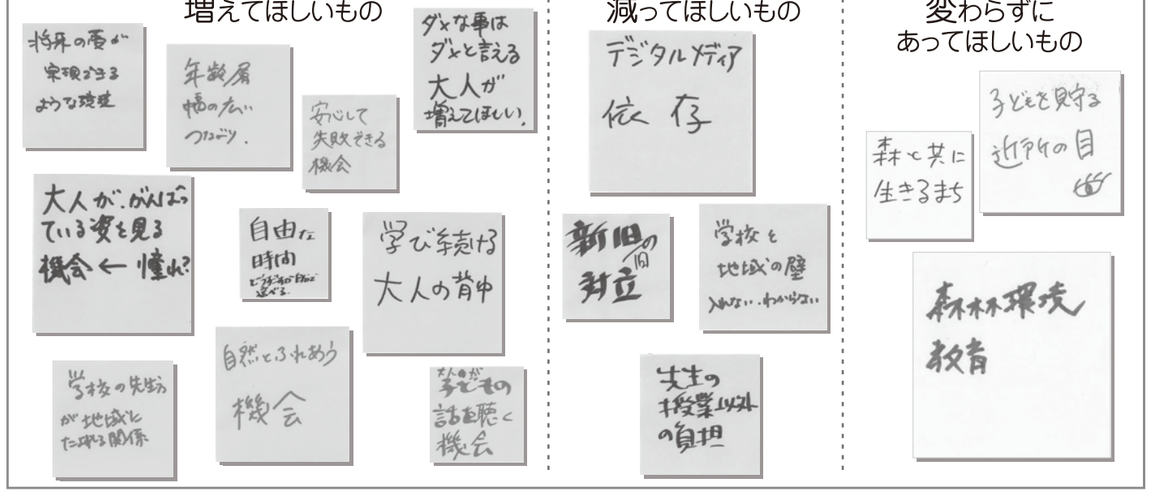


地域共育ビジョン策定のスケジュール

11/1	第1回「ビジョン策定委員会の進め方」
11/12	第2回「２０３０年までに実現したい下川町の地域で育む共育環境」増えてほしい／減ってほしい／変わらずにあってほしいこと
12/9	第3回「ビジョン、つながり図の作成①」
1/15	第4回「ビジョン、つながり図の作成②」
2月上旬	パブリックコメント募集
3月中旬	第5回「パブリックコメントを受けての最終修正」

「2030年までに実現したい下川町の地域で育む共育環境」

2019.11.12
ビジョン策定委員の意見より



みなさんの想いを聞かせてください

コモレビ、公民館に、地域共育ビジョン策定委員会の様子を壁新聞にして張り出します。「2030年までに実現したい下川町の地域で育む共育環境」において、増えてほしい/減ってほしい/変わらずにあってほしいことについて、みなさんから意見をいただけるように紙とペンを用意したコーナーを設置します。いただいたご意見は「地域共育ビジョン」に反映していきます。

立場の異なる大人たちが下川の子どもの未来ために対話する、このこと自体が、とても大切なことだと感じています。委員以外の、皆さんのご意見も、ぜひお寄せください。

地域共育ビジョン策定委員長　麻生翼

■お問い合わせ
政策推進課　☎４－２５１１内線２５３　☆４－２５１１０２